

# フローラルな甘い香りを持つチャ新品種候補 「90-2-213」

## [研究のねらい]

- ・静岡県の茶栽培面積のうち91%が「やぶきた」で占められており、香味の画一化や摘採期の集中などが問題となっている。
- ・一方、消費者嗜好は多様化し、特に若い女性は花様の香りを好む傾向がみられる(図1)。
- ・当センターでは、若い女性の嗜好に合致するフローラルな甘い香りを持つチャの新品種候補「90-2-213」を開発した(表1)。

※「90-2-213」は品種育成中の系統番号。

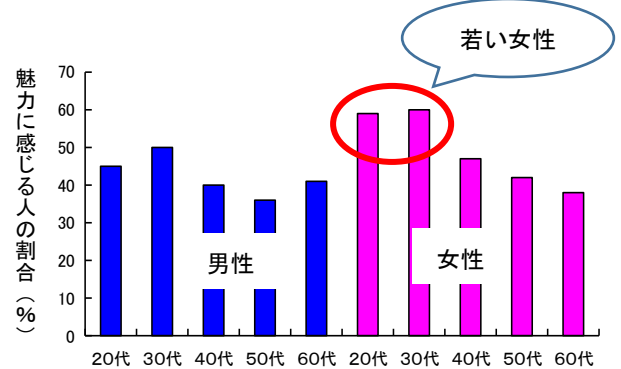


図1 花様の香りに対する嗜好

対象：静岡・東京 1000人  
方法：インターネット  
新成長戦略研究調査(H23)

## [研究の成果]

### ○「香駿」を凌ぐ『香り緑茶』適性

- ・香り緑茶製法で製造した「90-2-213」は、「さわやかな花様の香り、甘いクリーム様の香り」があり、香気+滋味の評価点では、香りが特長の品種「香駿」を上回る(図2)。
- ・甘い香りを呈する主要8成分の含有量の合計が、一番茶では「香駿」より5割程度多くなる(図3)。
- ・消費者の嗜好調査では、75%が「90-2-213」の香りを「好き」または「やや好き」と評価した(図4)。

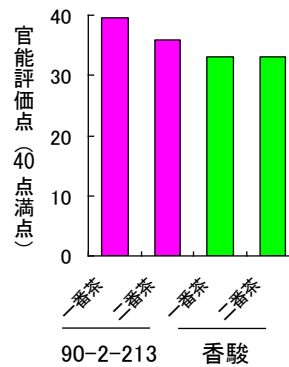


図2 香気+滋味の評価点

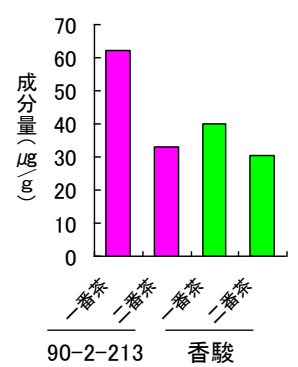


図3 主要8香気成分量

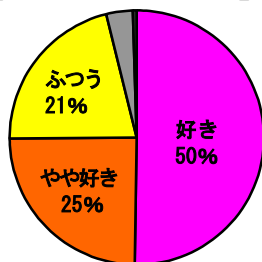


図4 「90-2-213」の香りの評価

対象：世界お茶まつり(2019)来場者  
人数：207人

表1 静岡県で育成した香りに特長ある品種

品種名	香りの種類	摘採期 (やぶきた比)
90-2-213	花様の香り	±0日
しずかおり	バニラ様の香り	-2日
香駿	ハーブ様の香り	+1日

### ○「90-2-213」の一般特性

- ・交配：種子親♀「するがわせ」×花粉親♂「きょうみどり」
- ・早晚性：中生(「やぶきた」比一番茶摘採期±0日)
- ・樹姿：やや直立／樹勢：強
- ・耐寒性：赤枯れ『強』
- ・耐病性：炭疽病『やや弱』、赤焼病『やや弱』
- ・耐虫性：クワシロカイガラムシ『やや弱』
- ・収量性：成木『多』



図5 「90-2-213」の一番茶